

特別企画：青森県「女性社長」分析調査（2021年）

女性社長比率 10.9%で全国3位

～平均年齢は 65.1 歳～

はじめに

政府は「女性活躍」を成長戦略の中核に据えており、2015年に施行された「女性活躍推進法」や、政府が提唱する「1億総活躍社会」の実現に向けた取り組みを強化している。2021年6月には男性の育休取得促進に向けた育児・介護休業法が改正されるなど、「女性活躍」を後押しする積極的な施策を行っている。一方では、世界経済フォーラムが公表した男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数」では、日本は156ヶ国中120位にとどまるなど、「経済」分野での男女格差は大きい状況も窺える。是正に向けた改善策の一つとして、女性社長がクローズアップされるなど、女性の活躍に引き続き注目が集まっている。

帝国データバンク青森支店では、自社データベース（青森県12,251社）をもとに、県内を本店として女性が社長を務める企業について分析を行った。

※集計対象は、個人事業主・非営利・公益法人などを除く「株式会社」「有限会社」「合同会社」「合名会社」「合資会社」

調査結果（要旨）

・2021年4月時点における女性社長の割合は10.9%であり、前年と同じであった。1990年は6.9%であり、約30年で4.0ポイント上昇している。全国は8.1%で、本県は2.8ポイント上回っており、全国3位となっている。なお1位は沖縄（11.4%）、2位は徳島（11.3%）であった。また女性社長比率が1割を超えたのは本県を含めて全国6県。

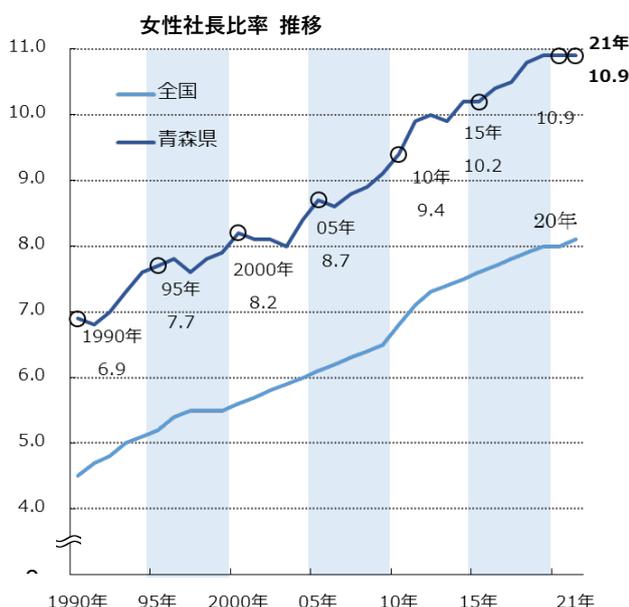
・女性社長の年代構成をみると、最も割合が高いのは「70-74歳」だった。次いで「65-69歳」「60-64歳」となっており、平均年齢は65.1歳であった。就任経緯では、引き続き「同族承継」による就任が最も高く、「創業者」は全国と比べても低位にある。

・直近1年間に新任した女性社長比率を年代構成別でみると、「70-74歳」が17.6%でトップ、「60-65歳」が16.5%と続き、社長就任時の平均年齢は60.4歳であった。就任経緯では「同族承継」が過半を占めており、「創業者」の割合が低く、全国とは反対の状況にある。

・業種別では、「不動産業」（24.1%）が最高となり、1990年から17.7ポイント上昇、上昇幅も全10業種中最大であった。次いで「サービス」14.4%「小売」13.7%と続いている。他方、「建設」（6.9%）の女性社長比率は低位にあり、1990年から1.5ポイントの上昇にとどまる。

1、女性社長比率 ～ 女性社長比率は10.9%、全国3位 ～

2021年4月時点における女性社長の比率は、前年と変わらず10.9%であった。1990年は6.9%、2000年は8.2%、2010年は9.4%、2015年が10.2%と推移しており、女性社長比率はこれまで上昇傾向で推移している。なお全国は8.1%であり、前年同様に沖縄11.4%、徳島11.3%に次ぐ全国3位であった。

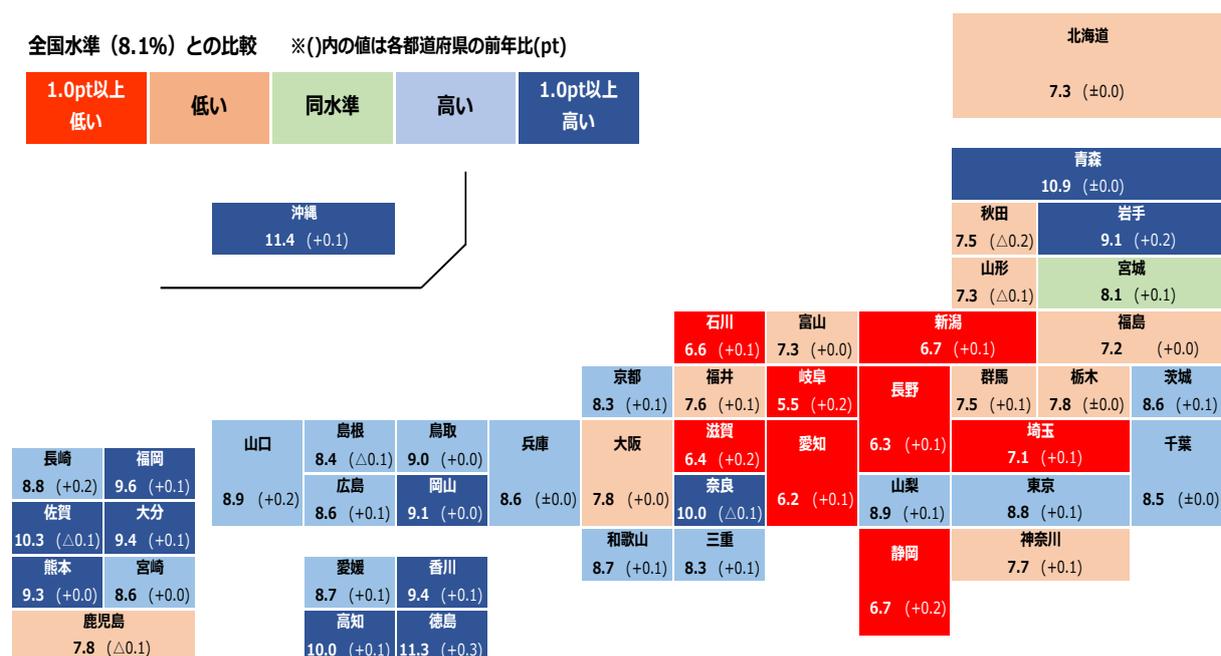


	全国(%)	青森県	順位
1990年	4.5	6.9	1位
1995年	5.2	7.7	1位
2000年	5.6	8.2	1位
2005年	6.1	8.7	1位
2010年	6.8	9.4	1位
2015年	7.6	10.2	2位
2020年	8.0	10.9	3位
2021年	8.1	10.9	3位

■都道府県別

全国水準（8.1%）との比較 ※()内の値は各都道府県の前年比(pt)

1.0pt以上 低い	低い	同水準	高い	1.0pt以上 高い
---------------	----	-----	----	---------------

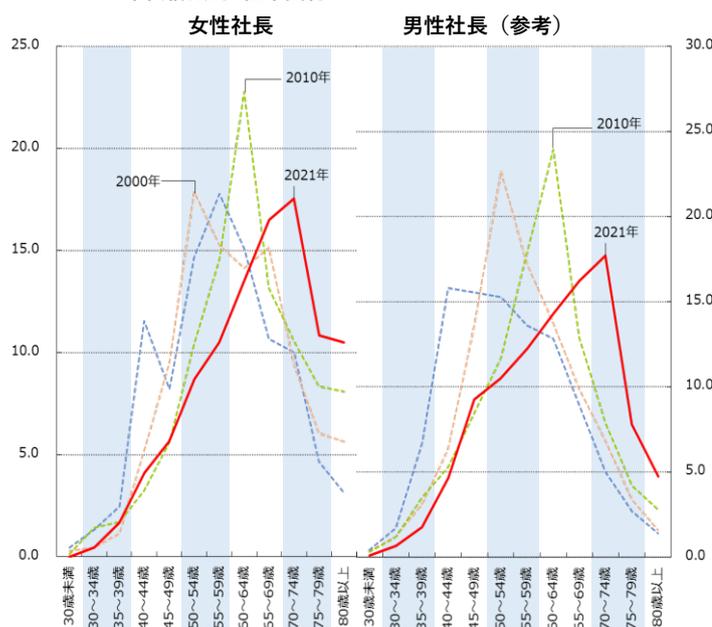


2、年代分布・就任経緯 ～ 就任経緯「同族承継」が高水準～

女性社長の年代分布をみると、最も割合が高いのは「70-74歳」（17.6%）だった。以下、「65-69歳」（16.5%）、「60-64歳」（13.5%）と続いた。また2021年における女性社長の平均年齢は65.1歳であり、前年より0.4歳上昇した。平均年齢は2000年が60.4歳、2010年が62.6歳となっており、上昇傾向が鮮明となっている。

就任経緯をみると、女性社長は「同族承継」（62.4%）による就任が最も高かった。次いで「創業者」（29.6%）となっており、これらで大半を占める状況であった。この内直近1年に新任した女性社長の就任経緯をみると、「同族承継」（64.3%）がトップで「創業者」（25.0%）がこれに次ぐ状況は変わらないが、全国では「創業者」が63.3%でトップとなっており、本県とは全く逆の傾向を示しており、創業による女性社長の誕生は低位にあると言える。

年代構成比 経年変化



年代分布

年代別	※単位は%、()は全国比			
	1990年	2000年	2010年	2021年
30歳未満	0.4 (△0.3)	0.3 (△0.2)	0.1 (△0.4)	0.0 (△0.2)
30-34歳	1.3 (△0.3)	0.4 (△1.0)	1.4 (+0.1)	0.5 (△0.4)
35-39歳	2.4 (△1.4)	1.2 (+1.2)	1.7 (△1.7)	1.6 (△0.7)
40-44歳	11.6 (+1.4)	5.2 (+5.2)	3.3 (△2.1)	4.1 (△0.2)
45-49歳	8.2 (△4.5)	9.5 (+9.5)	5.6 (△2.8)	5.7 (△2.4)
50-54歳	14.7 (△0.4)	17.9 (+17.9)	10.4 (+0.1)	8.7 (△2.1)
55-59歳	17.8 (+1.1)	15.3 (+15.3)	14.6 (+0.6)	10.5 (△1.9)
60-64歳	15.1 (△0.1)	14.1 (+14.1)	22.8 (+2.6)	13.5 (+0.4)
65-69歳	10.7 (△0.2)	15.1 (+15.1)	13.2 (△0.9)	16.5 (+3.3)
70-74歳	10.0 (+3.5)	9.4 (+9.4)	10.5 (+0.8)	17.6 (+1.7)
75-79歳	4.7 (+0.6)	6.1 (+6.1)	8.3 (+1.8)	10.8 (+1.6)
80歳以上	3.1 (+0.6)	5.6 (+5.6)	8.1 (+2.0)	10.5 (+0.8)
平均年齢	男性 53.6歳	56.3歳	58.9歳	62.1歳
	女性 57.8歳	60.4歳	62.6歳	65.1歳

女性の就任経緯別（全体、2021年）

	全国(%)	青森県	前年比	全国比
創業者	35.3	29.6	+7.0	▲5.7
同族承継	50.8	62.4	▲4.9	+11.6
買収	1.6	0.2	+0.2	▲1.4
内部昇格	8.3	5.6	▲0.7	▲2.7
外部招聘	1.4	0.0	▲1.4	▲1.4
出向・分社化	2.7	2.2	▲0.3	▲0.5

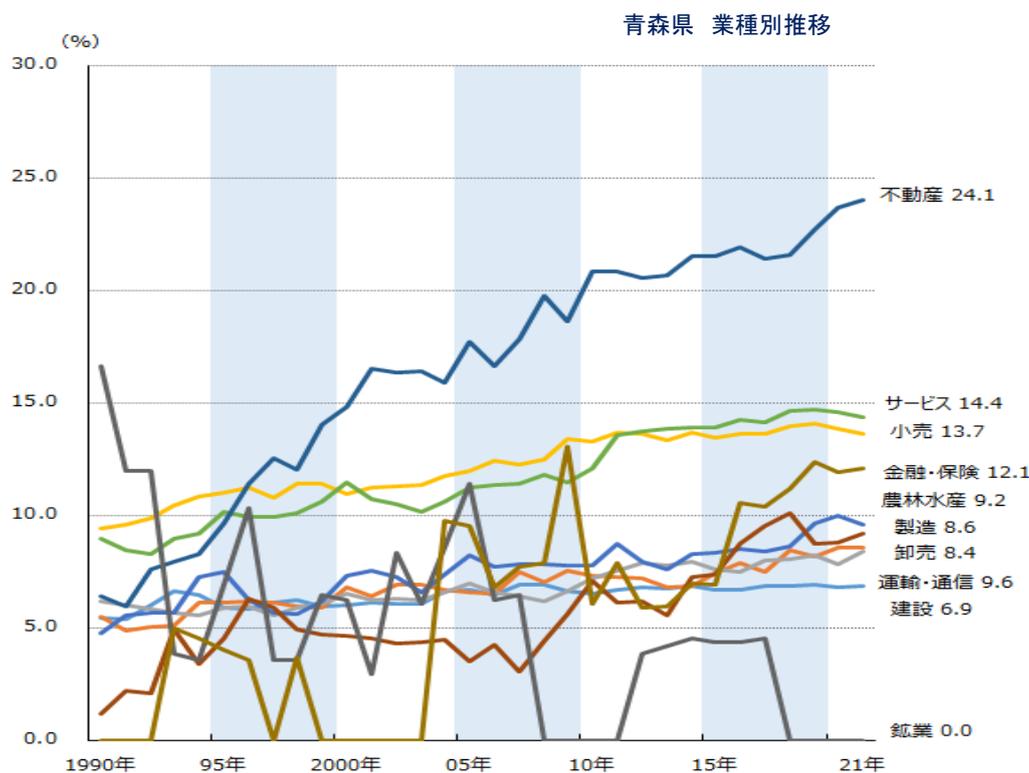
新任女性社長の就任経緯別（2021年）※

	全国(%)	青森県	前年比	全国比
創業者	63.3	25.0	+5.0	▲38.3
同族承継	23.4	64.3	+51.0	+40.9
買収	1.9	0.0	▲13.3	▲1.9
内部昇格	5.9	10.7	▲16.0	+4.8
外部招聘	1.8	0.0	±0.0	▲1.8
出向・分社化	3.6	0.0	▲26.7	▲3.6

※ 事業の承継、並びに新規設立による社長就任を指す

3. 業種別 ～ 「不動産」がトップ、「サービス」「小売」などB to C業種も上位～

業種別での2021年の女性社長比率は「不動産」（24.1%）がトップであり、1990年から17.7ポイント上昇し、上昇幅も全10業種中最大となった。以下、「サービス」（14.4%）、「小売」（13.7%）と続き、B to C業種で女性社長比率が高くなっている。他方、「建設」（6.9%）の女性社長比率は比較的低位にある。



業種別	%					2021年 現在	対31年前 増減	対前年 増減
	1990年 (31年前)	2000年 (21年前)	2010年 (11年前)	2015年 (6年前)	2020年 (1年前)			
建設	5.4	6.0	6.5	6.7	6.8	6.9	+1.5	+0.1
製造	5.5	6.8	7.3	7.4	8.6	8.6	+3.1	±0.0
卸売	6.2	6.5	7.2	7.6	7.8	8.4	+2.2	+0.6
小売	9.4	11.0	13.3	13.5	13.9	13.7	+4.3	▲ 0.2
運輸・通信	4.7	7.3	7.8	8.3	10.0	9.6	+4.9	▲ 0.4
サービス	9.0	11.5	12.1	13.9	14.6	14.4	+5.4	▲ 0.2
不動産	6.4	14.8	20.9	21.6	23.7	24.1	+17.7	+0.4
農林水産	1.2	4.6	7.1	7.4	8.8	9.2	+8.0	+0.4
鉱業	16.7	6.3		4.3		0.0	▲ 16.7	-
金融・保険			6.1	6.9	11.9	12.1	-	+0.2

4、まとめ

本県における女性社長比率は10.9%と、前年と変わらず引き続き過去最高位を維持し、全国的にも3位の高い比率を維持している。ただ背景をみると、就任経緯は「同族承継」が多く、先代社長の高齢化や後継者難などの様々な経営事情を背景に、配偶者や親から事業を引き継ぐなど、受動的なケースが少なくないとみられ、新任女性社長の就任時平均年齢は60.4歳に達するなど、高齢化も目立っている。また業種別でも、女性社長比率が高いのは、不動産のほかに、小売やサービスなど、比較的起業が容易なB to C業種、中小・零細規模の企業に限られているのが現状である。

近年は女性が新たに起業する割合は全国的に増加傾向にあり、女性社長の在り方は年々多様化している。こうした背景もあって全国的には新任女性社長の就任経緯は「同族承継」を大きく上回り「創業者」がトップとなっているが、本県における直近1年間に就任した新任女性社長の就任経緯をみると「創業者」の比率は低位にあり、起業による女性社長の誕生といった面では大きな差異が認められる。こうした部分を改善するには、中長期的に起業を支援する仕組みの構築など、ソフト面も含めた環境整備も大切になってくると言えよう。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 青森支店
青森市長島 2-16-11
徳永 博一
TEL 017-776-5048

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。